



【教育目標】 自ら学び正しく判断して行動する国際性豊かな児童生徒の育成  
～～～ 一人一人が輝く子どもの姿を求めて ～～～

☆6月の目標

☆1学期の学習の  
まとめをしよう

☆元気なあいさつを  
しよう

☆体をきたえよう

☆配布物のお知らせ

1 学校便り 12号

・・・主な日程・・・

・6月25日 1学期終業日  
・8月 6日 2学期始業日

子どもたちの作文から

※保護者の皆さんへ・・・本校は学習するところですので、学習に必要なものは持たせないように、ご家庭で注意・確認をしましょう！

☆マイファミリー  
鈴木 涼花(五年一組)

わたしには四人家族がいます。お父さん、お母さんと弟です。お父さんはよくゴルフにいらつてます。お母さんはよくわたりししゃべつたりしています。弟は、小学二年生で二十一日に八さいのたんじょうびをむかえます。弟はすぐゲームをするのが大好きです。一日中やっています。わたしと弟はよくけんかをしています。たとえば、きのう夜ごはんがおいしくて、弟が「やだ」と泣きだしてしまいました。だからといってわたしはおいしを食べるのをやめるわけにはいきません。わたしはおすしが大好きなのです。わたしたちは、アメリカに来て四年目ですが、何もおこらずゆっくりまったりしてすごしています。いつ日本にかえるのか分らないけど、これからも仲よくしていききたいです。



☆私の楽しい家族  
辻本 凜香(五年一組)

私の家族はいつも仲良しです。私には家に帰ってもまだ遊ぶ友だちがいないので、お父さんが帰ってくるま

で待ちます。私にはお兄ちゃんがいまでも、お兄ちゃんに遊んだりしません。でも、お父さんが帰ってきたらゲームをやめて、三人で一しょにキャッチボールをして遊びます。それに、お父さんが帰ってきたら勉強でもしりたりをして遊んでいます。アメリカに来る前お父さんは、たんしんふにんをしていて、土、日しかあえなかつたので、アメリカに来てから一しょにいる時間がふえました。アメリカでは、なにもかもが初めてなので家族できょうろして楽しくすごしたいと思っています。

☆二百字作文・意見文  
「宿題はあったほうがいいのか、ないほうがいいのか」

山本 夏鈴(六年二組)

「宿題はめんどくさいし、なければいいのに」と、だれでも人生で一回は思ったはず。しかし、本当に宿題がなくなるとうなってしまうのでしようか。授業だけでは足りず、勉強に追いつかなくなると思います。そのまま大人になると、何にもできない大人になってしまうと思います。また、宿題をすることで、物事を達成する気持ちを持ち生まれ、さらに計画性も身につきます。だから、私は宿題はあった方がいいと思います。

いかれることも多分ないと思うので、宿題はあったほうがいいと思います。でもなるべく少ない方がいいです。作文は特にきらいです。でもときどき宿題は、ないほうがいいと思うこともあったりします。それは、遊びたいとき、金曜日はまだ宿題がのこっているときです。でも、やっぱり宿題はあった方がいいです。

☆「春の季節の言葉を使って俳句を作ろう」五年二組

「寒のもどり さくら静かに  
まだつぼみ」 齋藤志織  
「花ぐもり 早く太陽  
出ないかな」 佐野泰隆  
「春の長雨 緑が元氣  
のびのびた」 佐藤隼人  
「まどぎわの のどかな陽差し  
花うれし」 吉村泉希  
「春風が 日に照る我が家を  
悠々と」 近藤和暉  
「春時雨 かさにパラパラ  
音立てる」 片岡太一

☆日記

のむらあゆむ(一年二組)

僕は、かんだうしました。どうしてかというとうちゅうがはじめて、せみになったからです。